

富山県感染症発生動向速報

(2025年第31週分・7月28日～8月3日)

■今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症の報告数が増えています。

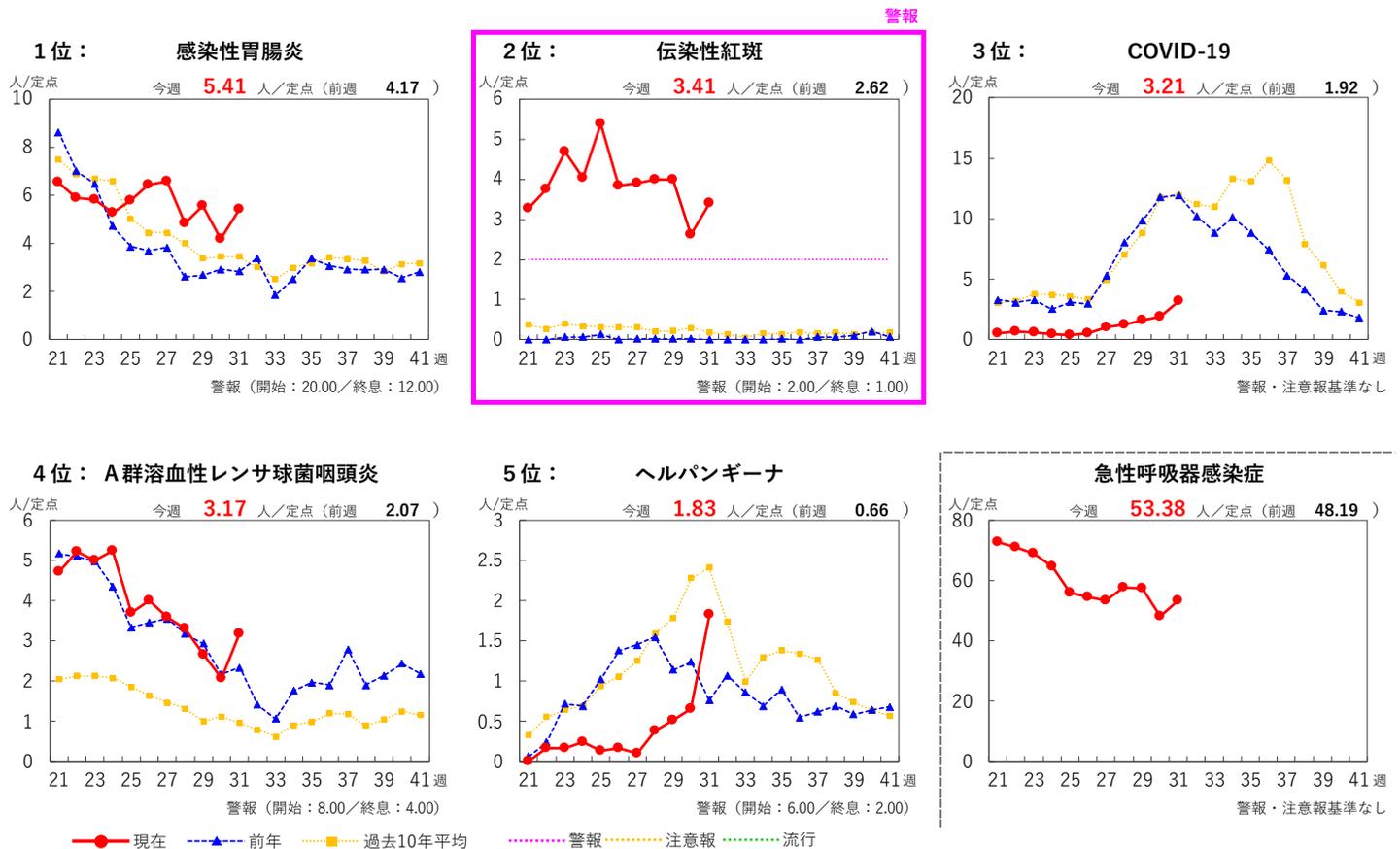
県内の患者報告数は、前年に比べ少ないものの増加傾向が続いています。全国的にも増加傾向であり、例年夏季に報告数が増加していることから注意が必要です。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう（今週のインフォメーション参照）。

○ヘルパンギーナの報告数が1.83人/定点となり、先週（0.66）から大幅に増加しました。

患者の年齢は1歳が最も多く、5歳以下の未就学児がほとんどを占めています。症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みや発赤がみられます。例年夏季に増える季節性があり、今後の動向に注意が必要です（[第30週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第31週・7/28～8/3）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

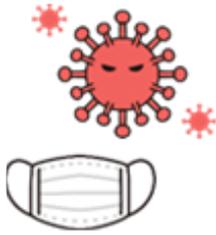
- 二類感染症 結核 5件 (①第13週診断分：70歳代、女性 ②40歳代、男性 ③80歳代、女性 ④90歳代、男性 ⑤90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (10歳未満、男性、O111、VT1VT2)
- 五類感染症 百日咳 27件 (①第28週診断分：10歳代、男性 ②第30週診断分：10歳代、男性 ③～⑪全て10歳未満、男性 ⑫～⑯全て10歳未満、女性 ⑰～⑳全て10歳代、男性 ㉑～㉒全て10歳代、女性 ㉓20歳代、女性 ㉔40歳代、男性)



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





感染者数増加傾向 新型コロナウイルス感染症

《 インフォメーション 》

●新型コロナウイルス感染症

全国の新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、2025年第25週から増加傾向となり、第30週に4.12人/定点の報告がありました（図青線）。富山県では全国と同様、第26週から増加傾向となり、今週（第31週）の報告数も3.21人/定点と増加しています（図赤線）。県内の基幹定点医療機関から報告される入院サーベイランスでも、今週24例となり、高齢者を中心に増加しています。例年夏季に入院を含む患者報告数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。

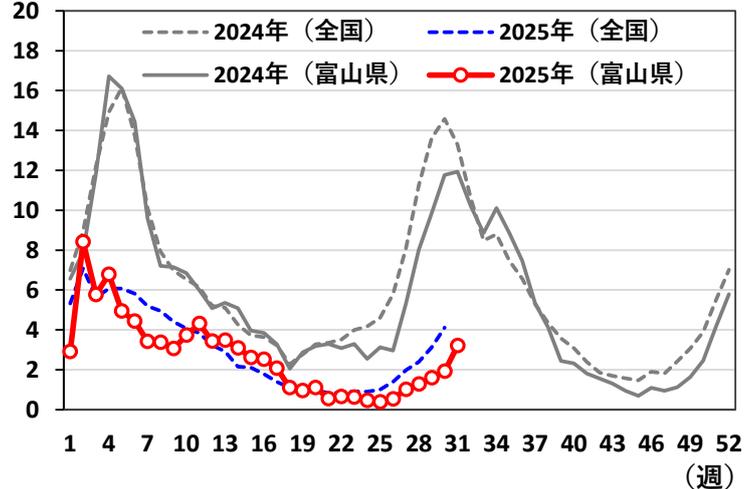
国内で検出された新型コロナウイルスのゲノム解析では、冬季に流行したオミクロン株のKP.3系統^{※1}およびXEC系統^{※2}の検出割合は減少した一方、オミクロン株のNB.1.8系統^{※3}とその亜系統の検出割合が増加し、2025年6月に検出された新型コロナウイルスゲノムの66%を占めています（[国立健康危機管理研究機構、急性呼吸器感染症サーベイランス週報2025年第27週](#)）。その内、最も多いNB.1.8.1系統（40%）は、KP.3系統やXEC系統より高い伝播力（実効再生産数）が報告されています。また、XEC系統の自然感染や、昨年度使用されたJN.1株対応ワクチンで誘導された中和抗体により、NB.1.8.1系統はXEC系統と同等に中和されるとされています（[Uriu K, et al, Lancet Infect Dis. 2025 Aug;25\(8\):e443.](#)）。

※1 JN.1系統の派生株 ※2 JN.1系統からの組換え株

※3 オミクロンXDV系統（XDE系統とJN.1系統の組換え体）の派生株

新型コロナウイルス感染症は、発症後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過するまでは、外出を控えることが推奨されています。学校保健安全法施行規則では、この日数を出席停止期間としています。発症後10日間はウイルス排出の可能性があることから、不織布マスクの着用や、高齢者等の重症化リスクの高い方との接触を控える等、感染予防に配慮しましょう。また、感染対策として「マスクの着用を含めた咳エチケット」「手洗い（手指消毒）」「換気」などが効果的です。

（人/定点） 新型コロナウイルス感染症報告数



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第31週 2025年7月28日～2025年8月3日）

分類	疾患	今週報告分（第31週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	1	1	1	1		4	6	2	11	13	33	65	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1	1	1			3	5	1	8	7	19	40	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1		1	3		1	5	
四類感染症	E型肝炎									3			3	
	A型肝炎								1	1			2	
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1	
	デング熱									1			1	
	レジオネラ症								1	2	1	9	13	
五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9	
	急性脳炎									1	1		2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		5	8	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1	
	ジアルジア症										1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	3	15	31	
	水痘（入院例）							1		1			2	
	梅毒							2	1	3	1	21	28	
	百日咳		8	5	5	7	25	28	124	120	27	244	543	
	風しん										1		1	
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	266	223	894	171	1,008	2,562	5,085	4,520	17,676	3,947	21,598	52,826
			38.00	44.60	68.77	24.43	63.00	53.38						
インフルエンザ		3				1	4	933	858	1,650	977	1,878	6,296	
		0.43				0.06	0.08							
COVID-19	44	21	22	18	49	154	954	380	1,020	718	931	4,003		
	6.29	4.20	1.69	2.57	3.06	3.21								
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	2		1			3	33	25	115	42	200	415	
		0.50		0.13			0.10							
	咽頭結膜熱		2	5		5	12	63	31	260	4	91	449	
			0.67	0.63		0.50	0.41							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		33		56	92	125	221	1,333	170	1,864	3,713	
		0.75		4.13		5.60	3.17							
	感染性胃腸炎	30	9	12	10	96	157	857	564	1,394	467	3,792	7,074	
		7.50	3.00	1.50	2.50	9.60	5.41							
	水痘		5	1		7	13	9	69	35	17	265	395	
			1.67	0.13		0.70	0.45							
	手足口病			3	2	4	9	2	7	35	8	36	88	
				0.38	0.50	0.40	0.31							
	伝染性紅斑	4	15	24	3	53	99	84	266	639	106	982	2,077	
		1.00	5.00	3.00	0.75	5.30	3.41							
突発性発しん	2		5	1	3	11	5	16	93	23	87	224		
	0.50		0.63	0.25	0.30	0.38								
ヘルパンギーナ	1	12	5	2	33	53	20	20	21	5	81	147		
	0.25	4.00	0.63	0.50	3.30	1.83								
流行性耳下腺炎							2	9	6	8	16	41		
眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99	
		1	2	1			4	3	7	24	1	2	37	
	1.00	2.00	0.50			0.57								
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎										1		1	
											1		1	
	無菌性髄膜炎													
			1			1	18	8	23	21	6	76		
				1.00		0.20								
									5			5		
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242	
	COVID-19による入院患者	6	2	5	2	9	24	86	76	59	121	209	551	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。